

お茶の水女子大学附属学校園の概要 (特色ある取組)

附属高等学校



●教育

- ・放課後の大学授業の受講や図書館・e-ラーニングシステムの利用、サマープログラムへの参加など、大学の教育研究資源の日常的な活用を促進。
- ・大学との高大連携特別教育プログラムを実施（高校の「課題研究入門」（学校設定科目）、高校生向け公開授業、キャリアガイダンス、課題研究支援等）。
- ・京都大学や東京科学大学等の特別授業、ポスターセッションへの参加などの、他大学と連携した教育活動を実施。
- ・筑波大学附属高等学校と連携したキャリア教育を実施。

●研究

- ・スーパーサイエンスハイスクール（第Ⅱ期：令和6年度～令和10年度 文部科学省指定）
課題：科学の力で未来を共創する女性リーダー育成カリキュラムの実践
<https://www.fz.ocha.ac.jp/fk/menu/ssh/index.html>

●社会貢献

- ・授業公開・課題研究中間発表会・成果発表会（年3回）を実施。
- ・授業視察・学校訪問の受入や研究会等講師派遣を積極的に実施。

附属中学校



●教育

- ・情報活用教育「ツールとしてのコンピュータから学習環境としてのコンピュータへ」を基本方針に、ICTを利活用した先進的な学校づくり（学校DX）を推進。
- ・全クラス担任副担任の2人体制をとり、一人ひとりに対応したきめ細かく充実した学級、教科、生徒指導を実施。

●研究

- ・「コミュニケーション・デザイン科」（H26～H29）や「生徒の深い理解を促し教科を超えた学習語彙の活用を支援する新教科「知の架け橋」を設置し、日常的に学習語彙に触れ、探究的な学びにおける言語活動の指導を通じて、各教科・領域の学びが互いに関連し合い、相乗効果を生み出す教育課程の開発」（R7～R10）をはじめとして、研究開発学校指定多数。新しい教育の創造を積極的に推進している。
- ・探究的な学習活動のカリキュラムである「自主研究」の実践を、1人1台端末環境の整備を機に、ICTを効果的に活用してさらに深化させた取組を実施。
- ・45年以上の歴史を持つ帰国生徒教育とその実践研究を進め、5年ごとに成果発表会を実施。日本語学習、英語・国語での分割授業、数学・社会・理科でのティームティーチングなど、生徒の学習状況に応じた個別指導を実施。

●社会貢献

- ・全国から教育関係者が参加する公開研究協議会（年1回）を実施。
- ・学校視察、授業参観の受入や研究会等講師派遣を積極的に実施。

一つのキャンパス内に全ての附属学校がある



大学との連携・発信

●大学教育との連携

- ・教職課程科目において、附属学校でのインターンシップやフィールドワークなどを実施。
- ・教職課程科目、非教職課程科目ともに、附属学校園教員が大学の授業に協力。

●コンピテンシー育成開発研究所との連携

- ・コンピテンシー・ベース教育を推進するコンピテンシー育成開発研究所と連携し、幼児期から大学期に至るまでの段階的教育モデルなどに関する研究を実施。

●理系女性育成啓発研究所との連携

- ・女子生徒の理工系分野の進路選択と理工系人材の育成を推進する理系女性育成啓発研究所と連携し、理系女性育成のための教材や教育プログラムを開発。

●人間発達教育科学研究所との連携

- ・乳幼児期の保育・教育の質向上、保育者の資質・能力育成、地域子育て支援に関する統合的な研究を学内の3つの乳幼児教育施設（附属幼稚園、いずみナーサリー、こども園）と人間発達教育科学研究所が連携して実施。

●「教材・論文データベース」による教育コンテンツの発信

- ・大学と附属学校園が開発・実践してきた授業案や教材などの教育コンテンツを「教材・論文データベース」（<https://kyozai-db.fz.ocha.ac.jp/>）で公開。

附属小学校



●教育

- ・協力学年担任制と教科担任制をとることで、子ども一人ひとりを多面的に見るとともに、教師相互が連携し協力することで様々な課題の解決を推進。
- ・4年生から帰国児童を受け入れ、それぞれの海外生活経験を活かしながら、一般児童との関わりを大切に共同共生の教育を実施。

●研究

- ・研究開発学校（平成31年度～令和6年度・文部科学省指定）
課題：自ら学びを構想し、主体的に学ぶ新領域「てつがく創造活動」を中核に据えた「メタ認知スキル」や「社会情動的スキル」を育成する教育課程の研究開発
https://curriculumdb.mext.go.jp/bc/kk/kk02/01_R01kokuritu/01
- ・「理数好きな児童・生徒を育てる探究学習推進プラン」（令和7年度・文部科学省指定）

●社会貢献

- ・教育実習指導研究会（公開研究会）において、例年2000名ほどの日本全国の実習関係者への研究成果の発信（全国2位の規模）。
- ・教育雑誌『児童教育』や研究成果をまとめた様々な書籍の出版。
- ・学校視察、授業参観の受入や研究会等講師派遣を積極的に実施。

附属幼稚園



●教育

- ・子どもへの願い（・自分のことを大切にする・周りの人を大切にする・環境を大切にする）をもとに、遊びや生活の中で、ありのままの自分を大切にされていると感じ、安心して、その人らしく、身の回りのもの、人、ことと関わっていくことを十分に保障した保育を行い、個々の子どもの興味や思いを尊重し、主体的に考えて行動する姿勢を育成。

●研究

- ・同一キャンパス内にある3つの乳幼児教育施設（本園、いずみナーサリー、こども園）による合同研究を実施。
- ・大学の人間発達教育科学研究所と連携し、全国の保育関係者や研究者が参加する「お茶大こどもフォーラム」を上記3園で合同開催。
<https://www.ocha.ac.jp/event/d013917.html>
- ・令和5年度から『「つくる」がうまれる暮らし』をテーマに研究を実施。

●社会貢献

- ・公開保育研究会、保育参観、海外からの来訪も含めた施設見学などの開催。
- ・1901年～ 日本最古の幼児教育研究誌『幼児の教育』を大学と共同制作。
- ・地域の子育て支援のために、上記3園合同の「のびのび子育てサロン」を開催。